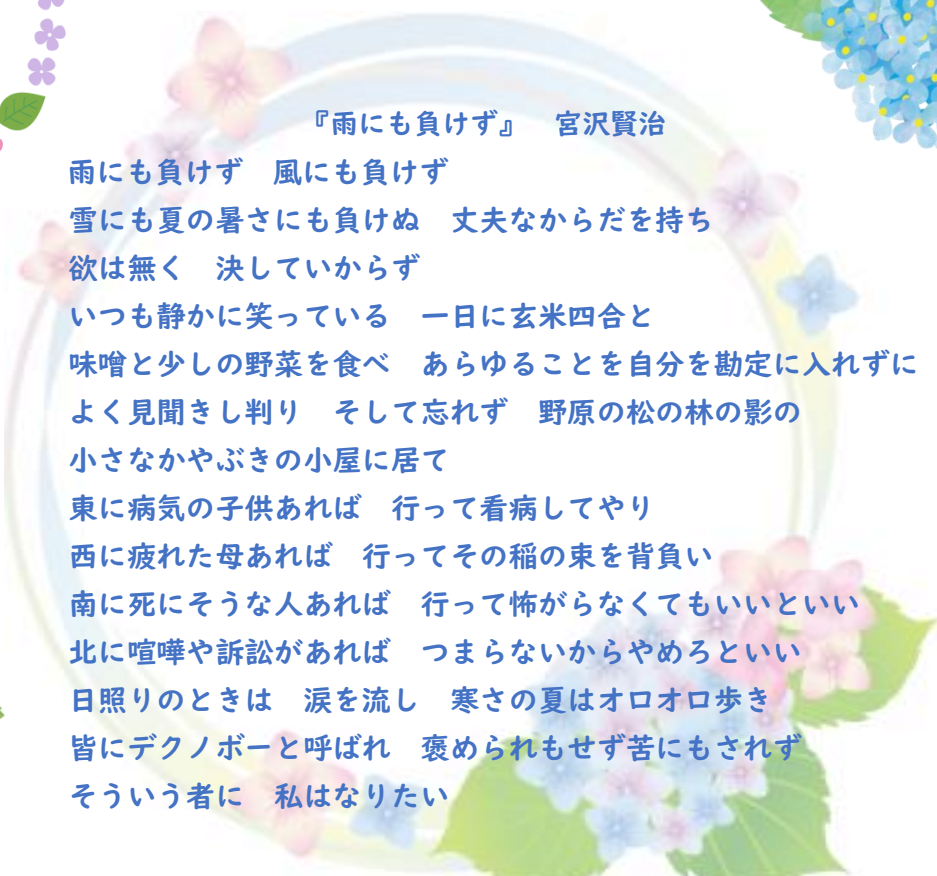




6月

ソフィアだより

『雨にも負けず』 宮沢賢治



雨にも負けず 風にも負けず
雪にも夏の暑さにも負けぬ 丈夫なからだを持ち
欲は無く 決していからず
いつも静かに笑っている 一日に玄米四合と
味噌と少しの野菜を食べ あらゆることを自分を勘定に入れずに
よく見聞きし判り そして忘れず 野原の松の林の影の
小さなかやぶきの小屋に居て
東に病気の子供あれば 行って看病してやり
西に疲れた母あれば 行ってその稲の束を背負い
南に死にそうな人あれば 行って怖がらなくてもいいといい
北に喧嘩や訴訟があれば つまらないからやめろといい
日照りのときは 涙を流し 寒さの夏はオロオロ歩き
皆にデクノボーと呼ばれ 褒められもせず苦にもされず
そういう者に 私はなりたい

雨の日が多くなりました。『梅雨の季節』の合間にも元気いっぱいにからだを動かし日々たくましく成長することこもたちの姿があります。

先日、NHK 放送の「人体の不思議シリーズ」を視聴しました。人体の臓器や細胞が自分の役割を果たしていくだけではなく「メッセージ物質（ホルモン、神経伝達物質など）」を通じて、想像以上に密接に連携し、何兆個もの細胞や器官が協力し合って奇跡のように身体の中で機能していることに一人の人間の大切さを存分に思います。そして、目の前にいるこもたちの姿からあらためてこもってすごいよなあと感動を覚えます。昨日までできなかったことが今日突然できるようになったり転んでもすぐに立ち上がったり。柔軟でしなやかな体の中にしっかりと成長への力が宿っているのを感じます。転んでできた擦り傷もいつの間にか治ってしまう回復力、真似をしながら自然と身につく運動能力など大人では考えられないスピードで変化していくこもたちの姿に毎日のように驚かされます。こもたちの行動は、発見と挑戦の連続。そこには小さな感動がたくさん詰まっています。今月もそんなこもたち一人ひとりのからだところどころの変化にしっかりと寄り添い共に喜びあって過ごしていきたい思います。

おとなだって負けてられません。適度な運動や食事によって筋肉は成長することが研究で明らかになっています。人間関係や環境の変化の中で感情のコントロールや共感力も成熟していくようです。毎日の生活の中で、こもとともに新しい発見や挑戦を楽しんでいきたいと思います。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑 直実

